

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772.

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

この木 何の木～

(悦)

今回は、皆でこの木の同定をしてみました。



葉の形:不分裂葉
葉のつき方:互生
短枝には2枚づつ葉がついている。
縁の形:重鋸歯※
樹皮:横長の皮目が並ぶ。



図鑑から
→ミズメが候補。
ミズメなら枝を折るとサリチル酸メチル(サロメチール)の匂いがするはず。→「する、する！」

結論:ミズメでした。

※大きなざざざざの中に小さなざざざざがある。

今日も色々新発見あり

(望)

- 充実の一日でした。特に、
- ・ミズキの葉は落下後黒くなる。
- ・ヤマナラシの葉柄は長方扁平形。
- ・ツリフネソウの受粉の仕組み
- ・オオムラサキの幼虫
- ・アワブキの葉が欠けている理由 等

本日の収穫

(☆925)

森の中を歩いていて名を知らない樹木に出合った時、図鑑などを見て知る方法を習いました。まず、葉の付き方と葉の形見て決めて、樹皮、枝の匂いなどで絞り込んでいくそうです。オモシロイ。ひとつ、リコウになりました。♪！

アサギマダラを違う場所で3回も見ることが出来、幸せでした。
もち、オオムラサキの幼虫も一頭確認できました。嬉しいこと！

名前の調べ方

(su)

この木何の木～の調べ方を教えてもらいました。葉の形、葉のつき方、葉にギザギザはあるか、樹皮はどんなふうか(シマシマはあるか、縦か横か)枝の切り口はどんなにおいがするか…等々。順番に追っていくと名前がわかる！！

きっと、花も、鳥も、虫も、みんな、こんなふうにして名前を調べていくんだね。



Ⓚさんの観察日記

○タデの仲間

イヌタデの可愛い赤い包、ハナタデの質素な花、ミゾソバの可愛い金平糖のような花、タニソバ、ハナタデ…タデ食う虫も好き好きとは言わせない、豪華な顔ぶれ。

○アケボノソウがあちこちに種をとばして咲いている。嬉しいな。

○アサギマダラの飛翔。今日、3回も見かける。

○クルマバナは花の下に葉がでることを知りました。

○サワフタギのルリ色の実が、何と沢山なっていることか！山の中で眼を引く素晴らしい色！

○樹木の同定のしかた講習。

まずはまずは、図鑑が必要？それでも、どこをみて決め手としていくかを教えてもらい、これからは役立てていきたい。庭の木も名前がわからないのがあるので。

○アオハダの赤い実。緑の葉との対照がきれい。我が家の鉢植えも実を付けてほしいが、メス木かな？

出会った昆虫

(馬)写真も

- アサギマダラ ♂♀
- キタキチョウ 秋型多数(頂上広場)
- モンキチョウ ♂メス(頂上広場)
- ヒョウモン類
- スミナガシ 若齢幼虫(頂上付近)



- オオムラサキ 2齢幼虫
- クスサン



- アキアカネ類(頂上広場)
- ナナフシ類

和名の漢字

(島田克)

※サワフタギ(沢蓋木)のルリ色の果実の自然の色の深みは素晴らしいものでした。

◎草花の和名のつき方は漢字を見ると植物の特性を知ることが出来て楽しいものです。

Mittyさんの観察日記

実りの秋。秋の小さな花々も可愛いですが、木々等の実が美しい。
サワフタギのつややかな青。ガマズミの赤。甘茶ヅルの宝石のような緑。
ツリバナの実も熟し始めて割目が出てきていた。一年を通して同じところを観察していると、毎月「あの木はどうなっているかな」「あの花は咲いたかな」と丁寧にみることでできて興味が深まる。

タイミング

(吉)

頂上からの中央コース入口あたりにクスサン(蛾)の交尾が見られました。何分か前か後では見られない。花も時期がずれば見られない。見られたことに感謝。

自然の色彩

(敏)

散策が気持ちいい季節に入りました。木の実が沢山、色、形、ついている向きなど、一つ一つ違っておもしろい。自然の色彩はどれも美しい。

一日参加

(南波)

久しぶりに勉強させてもらいました。頭も体も疲れ気味。秋山もいいね。幹事さまご苦労様でした。

タデ科の植物

(fu)

イヌタデ、ハナタデ、タニソバ、ミソソバ。
タデ科の植物もカワイイ花を付けるんですね。ミズヒキがタデ科というのも今回初めて知りました。「タデ喰う虫も好き好き」なんて興味がなかったのですが、馬鹿にはいけませんね。

イヌタデ(アカマンマ)(ガイドブック p103)



ハナタデ



タニソバ (p103)



ミソソバ(p104)



果実

(K.K)

サワフタギ(p74)のブルーの実、ガマズミ(p83)の赤い実がとてもきれいでした。



サワフタギの実



ガマズミの実

★ 今日のなんでかな～?

(矢) 写真も

<ヌルデミミフシ>



ヌルデ(p134)の虫こぶ

ヌルデの葉軸の翼部分に、ヌルデシロアブラムシが寄生して作られる虫こぶ。

この虫こぶはタンニンを多く含み、我々はこれを乾燥し生活のなかに利用してきた。特にアブラムシが脱出する前のものは、その含有量が多いらしい。

タンニンは鉄に反応し青くなるので高級着物の染色に。抗菌作用もあるので医薬品に。昔、お歯黒に使われていたのは虫歯予防の意味もあったのだろう。

<ヌルデシロアブラムシ>



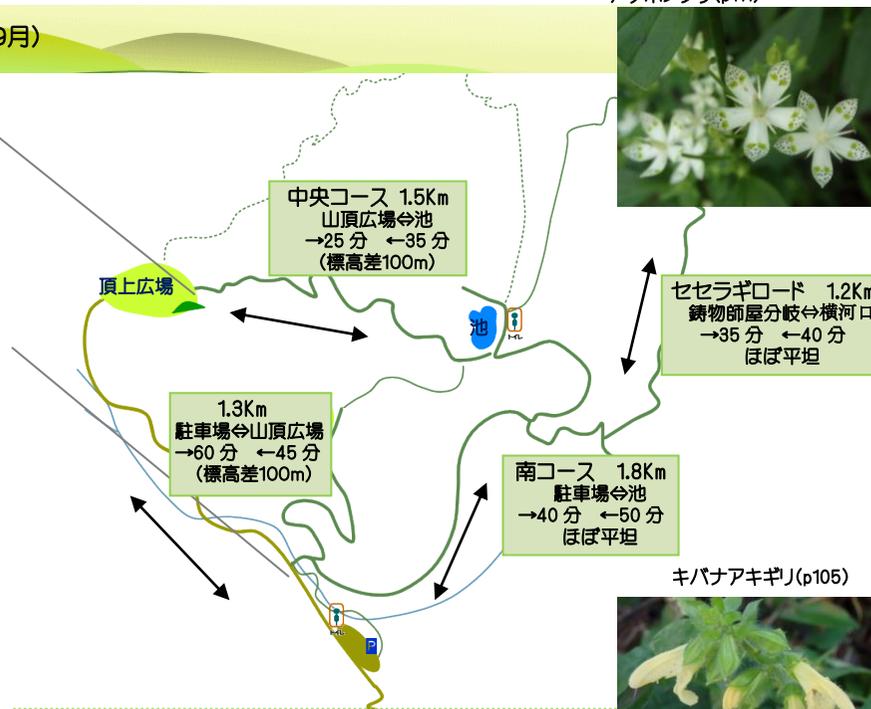
植物と虫の関係も、植物はただ寄生されるがままになっているわけではなく、虫こぶを形成することで、虫を閉じ込め被害が全体に及ぶことを防いでいるらしい。

虫にとっても虫こぶは外敵から身を守る生活の場なのだ。

山を歩くと「なんでかな～？」がいっぱい!

そこで今日のお勧めの一冊 藤倉政夫著(信濃毎日新聞社)
『身近な昆虫の不思議探検—研ちゃんのお観察ノート—』

秋 (9月)



本日の感動・印象

(A.N)

- アワブキに止まるスミナガシの幼虫、水墨画を手習いでやる者として、幼虫のボカシの入ったような姿には感動しました。
- 頂上広場のサワフタギの実、深いブルーが美しく、並んでなっているのが好印象でした。特に疲れた時だけに。



ミズキ(p79) (悦)

ママが言われた「赤い枝」って、これのことです。花柄といって、サンゴのような枝先に花が咲き、実がなります。

今月も新しい発見 (K.N) 写真も

今月も新しい発見が沢山ありました。○アサギマダラ 今まで話しには聞いていました。このマークを誰かが遠くで発見してくれるでしょうか。



○ウダイカンバ こんな立派なカバノキは初めてでした。



○帰りの遊歩道でみつけたサワガニ 踏まれないように。



ママの日記

最初にヤマナラシの葉のしくみを知って、それからいろんな木を見ながら歩いたら、違いがわかって、子どものように嬉しかったです。ミズキの木の下には、赤い枝が落ちていたこともわかった! chieko

けいちゃん日記

くりとか、どんぐりがたくさん落ちていて、いっぱいひろったよ。

